

第4回腎移植内科研究会 学術集会 2018

－プレミナリープログラム－

この度、第4回腎移植内科研究会を下記日程にて開催する運びとなりました。
腎移植も長期生着とともに内科医の関与が大きくなってきています。将来的にもっと数が増加していくと予想される腎移植に対して、移植内科医としての研修は必須となっていくと思います。
移植を理解している腎臓内科医や移植内科医が増えれば、その地域での紹介は増えて移植数は増えます。教科書的知識ではなく、実際の腎移植臨床ができる若い内科医を全国規模で育てるために、2015年より腎移植内科研究会が発足しました。腎移植臨床を動かすことができる若い内科医を育てることにより、将来の腎移植治療は、数も質も今までとは比較にならないほど発展します。本邦における移植医療の進歩は、大きな意味を持つものと考えます。是非とも多くの方々のご参加をお待ちしております。

腎移植内科研究会第4回会長
後藤 憲彦（名古屋第二赤十字病院）

日 時	2018年7月7日（土）	15:00 ～	受付開始
	（第1日目）	16:00 ～	19:00
		19:30 ～	懇親会
	2018年7月8日（日）	8:00 ～	受付開始
	（第2日目）	9:00 ～	15:30

参加費 5,000円（年会費2,000円は別途）

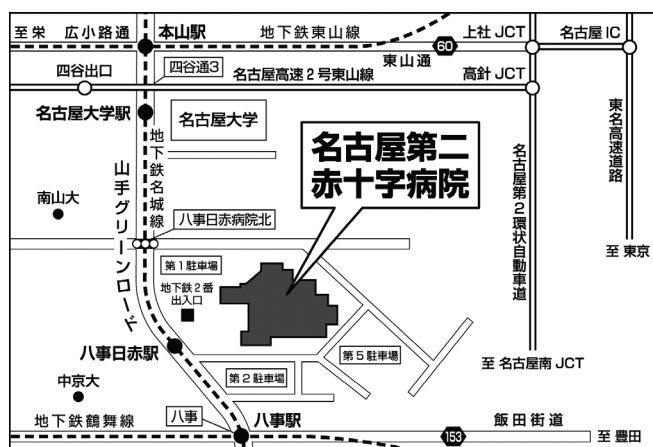
*7月7日 18:00 特別講演

日本臨床腎移植学会腎移植認定医制度更新のための
1単位（カテゴリー3：献腎移植）が取得可能

*7月8日 12:30 特別講演（ランチョンセミナー）

日本臨床腎移植学会腎移植認定医制度更新のための
1単位（カテゴリー2：生体腎移植）が取得可能

会 場 名古屋第二赤十字病院 研修ホール
〒466-8650 愛知県名古屋市昭和区妙見町2-9
052-832-1121（代表）



- 名鉄・JR・近鉄「名古屋」駅より
地下鉄東山線「本山」経由乗り換え、名城線「八事日赤」駅下車
- 地下鉄鶴舞線「八事」駅より
地下鉄名城線乗り換え、「八事日赤」駅下車
- 名鉄・JR「金山」駅より
地下鉄名城線乗り換え、「八事日赤」駅下車
市バス金山12号系統「名古屋大学」行、「八事日赤病院」下車
- 地下鉄東山線・名城線「栄」駅バスターミナルより
市バス栄18号系統「妙見町」行、「八事日赤病院」下車

腎移植内科研究会 事務局 小口 英世、村松 真樹
東邦大学医学部腎臓学講座内
TEL 03-3762-4151 FAX 03-5471-3056
URL: <http://rtpa.jp>

2018 年 7 月 7 日 プログラム概要

16:00-17:00 よくわかるシリーズ①

司会：辻田 誠（名古屋第二赤十字病院 移植内科）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

腎移植ドナーの選定基準とその後のフォロー

谷澤 雅彦（聖マリアンナ医科大学 腎臓内科）

腎移植と感染症

伊藤 健太（静岡県立病院総合病院 腎臓内科）

腎移植後再発性腎炎

小口 英世（東邦大学 腎臓内科）

17:00-18:00 よくわかるシリーズ②

司会：祖父江 理（香川大学 腎臓内科）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

尿細管間質病変の考え方：移植腎生検を中心に

原 重雄（神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科）

18:00-19:00 特別講演

司会：後藤 憲彦（名古屋第二赤十字病院 移植内科）

協賛：中外製薬株式会社

『インフルエンザワクチンができるまで』

城野 洋一郎 先生（Kino Consulting）

※この特別講演受講者は日本臨床腎移植学会の腎移植認定医の更新に必要な 1 単位
（カテゴリー3：献腎移植）が取得できます。講演終了後、受講証明書を
講演会場出口のところで配布いたします。

19:30- 懇親会

（第 2 病棟 6 階『マロン』）

2018 年 7 月 8 日 プログラム概要

8:00-9:00 幹事会

（第 3 病棟地下 1 階会議室）

9:00-10:00 一般演題 1 移植後感染症

司会：西平 守邦（増子記念病院 腎移植科）

O1-1 腎移植後、Preemptive therapy を行うも CMV 網膜炎を発症した
抗 CMV IgG D+/R+ の一例

友成 雅大（東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科）

O1-2 腎移植後慢性期に認めた空洞病変を伴う肺結節陰影の一例

坂井 薫（京都大学医学部病院 腎臓内科）

O1-3 腎移植後感染症の実際

伊藤 健太（静岡県立総合病院 腎臓内科）

O1-4 腎移植後 1 年経過レシipientに対して施行した BK ウイルススクリーニング検査の検討
海上 耕平（ときわ会 余丁町クリニック）

O1-5 妊娠を希望した BK ウイルス腎症の既往がある腎移植後患者の一例

孫 楽（聖路加国際病院 腎臓内科）

10:00-11:00 一般演題 2 移植可否を迷う症例

司会：豊田 麻理子（熊本赤十字病院 腎臓内科）

- O2-1 生体腎移植を見合わせた 2 例の検討
大沢 紘介（佐久総合病院佐久医療センター 腎臓内科）
- O2-2 多剤耐性結核菌感染の既往にて腎移植を中止した高齢の腎不全症例
森島 淳之（一般財団法人住友病院 腎センター）
- O2-3 不安定狭心症のために生体腎移植が 2 回延期となった症例における冠動脈リスク評価
西森 一久（福井大学 腎臓内科）
- O2-4 親子間生体腎移植を予定している神経性食思不振症の既往のある 1 女性例
山崎 秀憲（富山大学 第二内科）
- O2-5 家族性地中海熱（FMF）を背景とする肝硬変合併血液透析患者に対して肝腎同時移植を検討している一例
松井 賢治（湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター）

11:00-11:30 休憩 ・ ポスター閲覧

11:30-12:15 ポスターセッション 1 移植前の処置と治療 （研修ホール前）

司会：丹野 有道（東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科）

- P1-1 ABO 血液型不適合腎移植における術前抗体価と抗体除去療法についての検討
小林 拓（富山県立中央病院）
- P1-2 常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）、ミトコンドリア脳筋症（MELAS）症
同時罹患患者に対する生体腎移植の経験
藤方 史朗（愛媛県立中央病院 泌尿器科）
- P1-3 潜在性結核感染症ドナーからの親子間生体腎移植の一例
森川 幸恵（福井大学 腎臓内科）
- P1-4 先行的腎移植（PEKT）時のバスキュラーアクセスにおける当院の現状と検討
濱之上 哲（熊本赤十字病院 腎臓内科）

11:30-12:15 ポスターセッション 2 拒絶反応と再発腎炎 （研修ホール前）

司会：升谷 耕介（福岡大学 腎臓・膠原病内科）

- P2-1 家族性 LCAT 欠損症を基礎疾患とした糖尿病性腎症による末期腎不全に対して
生体腎移植術を施行した 1 例
朝倉 真希（自治医科大学 内科学講座腎臓内科部門）
- P2-2 Tac 徐放剤の分割投与で血中濃度が安定した生体腎移植の一例
山家 公輔（信州大学医学部附属病院 腎臓内科）
- P2-3 タクロリムスのトラフと AUC とに解離を認め borderline change をきたした一例
森田 元（公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院）
- P2-4 腎移植後 1 年の IgA 腎症に対してステロイドパルス療法が有効であった一例
山城 葵（東京医科大学八王子医療センター 腎臓病センター 腎臓内科・血液浄化療法室）

11:30-12:20 ポスターセッション 3 移植後合併症 (インフォメーションセンター)

司会：海上 耕平（東京女子医科大学 腎臓内科）

- P3-1 献腎移植後に発症した進行膀胱がんの一例
緒方 聖友（熊本赤十字病院 総合内科）
- P3-2 腎移植後 13 年目に移植腎動脈上流で総腸骨動脈瘤破裂をきたした 1 症例
岡 健太郎（自治医科大学 内科学講座腎臓内科学部門）
- P3-3 EBV 陰性 PTLID (DLBCL) の 1 例
磯部 伸介（名古屋第二赤十字病院 移植内科・移植外科）
- P3-4 移植後リンパ増殖性疾患により急な転帰で死亡した一例
南 知宏（一般財団法人住友病院 腎センター）
- P3-5 腎移植維持期における骨粗鬆症と筋骨格筋量の関連
西平 守邦（増子記念病院 腎移植科）
- P3-6 腎移植レシピエントにおける血清アルブミンの重要性
土本 晃裕（九州大学 病態機能内科学）

12:30-13:30 特別講演（ランチョンセミナー）

司会：後藤 憲彦（名古屋第二赤十字病院 移植内科）

協賛：MSD 株式会社

『移植内科医に知って欲しい循環器病学 – 心腎連関のカギは糖尿病にあり』
七里 守 先生（名古屋第二赤十字病院 循環器内科）

※この特別講演受講者は日本臨床腎移植学会の腎移植認定医の更新に必要な 1 単位
（カテゴリー 2：生体腎移植）が取得できます。講演終了後、受講証明書を
講演会場出口のところで配布いたします。

13:30-13:50 休憩

13:50-14:00 事務局より事務連絡

14:00-14:25 一般演題 3 生体腎移植ドナーのフォローと予後

司会：長浜 正彦（聖路加国際病院 腎臓内科）

- O3-1 生体腎移植ドナーのフォローの現状と今後の取り組み
大迫 希代美（聖マリアンナ医科大学病院 腎臓・高血圧内科）
- O3-2 顕微鏡的血尿を有する腎ドナーの組織学的所見と腎予後
石渡 亜由美（東京都保健医療公社大久保病院 腎内科）

14:25-15:25 一般演題 4 地域腎臓内科医との連携

司会：成瀬 友彦（春日井市民病院 腎臓内科）

後藤 憲彦（名古屋第二赤十字病院 移植内科）

- O4-1 腎移植科を立ち上げから 2 年を経て、今後の当院における課題について
赤沼 高史（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 腎移植科）
- O4-2 当院腎臓内科における療法選択と今後の課題
坂巻 裕介（東京歯科大学市川総合病院 腎不全治療センター）
- O4-3 若手腎臓内科医に対する腎移植の意識調査
清水 真央（神戸大学大学院医学研究科 腎臓内科 腎・血液浄化センター）
- O4-4 移植内科との医療連携による変化の検討と提案
三村 哲史（春日井市民病院 腎臓内科）
- O4-5 非移植施設 腎臓内科における腎移植後外来診療体制の構築
鈴木 聡（JA 愛知厚生連 海南病院 腎臓内科）